

(別紙 1)

平成 29 年度～令和 7 年度 社会福祉法人邑智福祉振興会 社会福祉充実計画 (変更後)

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人 邑智福祉振興会		法人番号	6280005004731			
法人代表者氏名	辰田 直久						
法人の主たる所在地	島根県邑智郡邑南町中野 3600-1						
連絡先	電話 0855-95-0811						
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日	該当なし						
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	(変更前) 令和元年 5 月 30 日 (変更後) 令和 2 年 5 月 25 日						
評議員会の承認年月日	(変更前) 令和元年 6 月 24 日 (変更後) 令和 2 年 6 月 24 日						
計画の変更点	変更点は、様式にて認められた方法である「赤字」にて表記している。						
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成 28 年度末現在)	1 か年度目 (平成 29 年度末現在)	2 か年度目 (平成 30 年度末現在)	3 か年度目 (令和元年 度末現在)	4 か年度目 (令和 2 年 度末現在)	5 か年度目 (令和 3 年 度末現在)	
	551,490	539,731 (実施)	517,987 (実施)	443,418 (実施)	422,483	410,718	
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)		△11,759	△21,744	△74,569	△20,935	△11,765	
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (令和 3 年度末現在)	6 か年度目 (令和 4 年度末現在)	7 か年度目 (令和 5 年度末現在)	8 か年度目 (令和 6 年度末現在)	9 か年度目 (令和 7 年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額
	410,718	336,553	324,788	313,023	0		0
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)		△74,165	△11,765	△11,765	△313,023	0	
本計画の対象期間	平成 29 年 8 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日						

2. 事業計画

単位：千円

実施時期	事業名	事業種別	既存・ 新規の別	事業概要	施設整備 の有無	事業費
1か年 度目 (実施) H29	職員処遇改善 事業	社会福祉 事業	新規	当法人職員の給与・賃金単価・夜勤手 当の改正、手当の増設。職員の資質向 上を図るため研修費を助成する	無	10,139
	くろみ邑美園設 備整備事業	社会福祉 事業	新規	調理用の厨房オープン整備を実施す る	有	1,620
	小計					
2か年 度目 (実施) H30	職員処遇改善 事業	社会福祉 事業	新規	当法人職員の手当の増設。職員の資 質向上を図るため研修費を助成する	無	9,576
	くろみ邑美園児 童部棟改築事業 (施設整備助成 事業)	社会福祉 事業	新規	障害児入所施設及び短期入所事業の ための改築工事 生活スペースを個室とし、家庭に近 い生活環境が確保できるよう建物を 改築する	有	5,400
	くろみ邑美園修 繕事業	社会福祉 事業	新規	施設内壁、クロス貼替等補修を実施 する	無	3,140
	借地購入事業	社会福祉 事業	新規	法人所有のグループホームの借地を 購入する	無	3,628
	小計					
3か年 度目 (実施) R元	職員処遇改善 事業	社会福祉 事業	新規	当法人職員の手当の増設。職員の資 質向上を図るため研修費を助成する	無	11,765
	くろみ邑美園児 童部棟改築事業 (施設整備助成 事業)	社会福祉 事業	新規	障害児入所施設及び短期入所事業の ための改築工事 生活スペースを個室とし、家庭に近 い生活環境が確保できるよう建物を 改築する	有	162,610
	くろみ邑美園設 備整備事業	社会福祉 事業	新規	マイクロバス車庫整備を実施する	有	2,592
	くろみ邑美園修 繕事業	社会福祉 事業	新規	施設内壁、クロス貼替等補修を実施 する	無	500
	小計					
4か年 度目 R2	職員処遇改善 事業	社会福祉 事業	新規	当法人職員の手当の増設。職員の資 質向上を図るため研修費を助成する	無	11,765
	くろみ邑美園設 備整備事業	社会福祉 事業	新規	業務用布団乾燥機整備を実施する	無	4,170
	くろみ邑美園修 繕事業	社会福祉 事業	新規	施設内壁、クロス貼替等補修を実施 する	無	2,500
	くろみ邑美園児 童部棟設備整備 事業	社会福祉 事業	新規	エアコン設備整備を実施する	無	2,500
	小計					
5か年 度目 R3	職員処遇改善 事業	社会福祉 事業	新規	当法人職員の手当の増設。職員の資 質向上を図るため研修費を助成する	無	11,765
	小計					
6か年 度目	職員処遇改善 事業	社会福祉 事業	新規	当法人職員の手当の増設。職員の資 質向上を図るため研修費を助成する	無	11,765
	グループホーム 建設事業	社会福祉 事業	新規	借家の老朽化に伴い、最新基準を満 たした設備のグループホームを建設 する	有	62,400

実施時期	事業名	事業種別	既存・ 新規の別	事業概要	施設整備 の有無	事業費
R4				※木造平屋建てグループホーム 7名定員		
小計						74,165
7か年 度目	職員処遇改善 事業	社会福祉 事業	新規	当法人職員の手当の増設。職員の資 質向上を図るため研修費を助成する	無	11,765
R5	小計					11,765
8か年 度目	職員処遇改善 事業	社会福祉 事業	新規	当法人職員の手当の増設。職員の資 質向上を図るため研修費を助成する	無	11,765
R6	小計					11,765
9か年 度目	職員処遇改善 事業	社会福祉 事業	新規	当法人職員の手当の増設。職員の資 質向上を図るため研修費を助成する	無	11,765
	くろみ邑美園改 築事業（施設整 備助成事業）	社会福祉 事業	新規	障害者支援施設の改築工事 建替えにおいては個室化を図る等、 安全で安心な生活環境が確保される よう改築する	有	766,514
R7	小計					778,279
合計						1,119,644

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	職員の処遇改善・資質向上を図るため、給与・賃金・手当の改定、研修費の助成を行う。 施設整備については、くるみ邑美園・邑美園児童部の建物改築、大型電気機器の買い替え及び車庫の整備や、グループホーム利用者の住居確保のためのグループホーム建設及び借地を購入する。
② 地域公益事業	実施しない
③ ①及び②以外の公益事業	①、②の取り組みを実施する結果、残額は生じないため実施しない。

4. 資金計画

※ 事業が複数に亘るため、総事業計画を作成している。続いて、内訳となる事業計画を記載する。

① 総事業計画

単位：千円

事業名	事業費内訳	1か年度目 (実施)	2か年度目 (実施)	3か年度目 (実施)	4か年度目	5か年度目	小計	
	計画の実施期間における事業費合計	11,759	21,744	177,467	20,935	11,765	243,670	
	財源構成	社会福祉充実残額	11,759	21,744	74,569	20,935	11,765	140,772
		補助金			102,898			102,898
		借入金						
		事業収益						
		その他						
	事業費内訳	6か年度目	7か年度目	8か年度目	9か年度目	小計	合計	
	計画の実施期間における事業費合計	74,165	11,765	11,765	778,279	875,974	1,119,644	
	財源構成	社会福祉充実残額	74,165	11,765	11,765	313,023	410,718	551,490
		補助金				285,900	285,900	388,798
		借入金						
事業収益								
その他					179,356	179,356	179,356	

② 事業計画内訳

単位：千円

事業名	事業費内訳	1か年度目 (実施)	2か年度目 (実施)	3か年度目 (実施)	4か年度目	5か年度目	小計	
職員処遇 改善事業	計画の実施期間に おける事業費合計	10,139	9,576	11,765	11,765	11,765	55,010	
	財源構成	社会福祉充実 残額	10,139	9,576	11,765	11,765	11,765	55,010
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						
	事業費内訳	6か年度目	7か年度目	8か年度目	9か年度目		合計	
	計画の実施期間に おける事業費合計	11,765	11,765	11,765	11,765		102,070	
	財源構成	社会福祉充実 残額	11,765	11,765	11,765	11,765		102,070
		補助金						
		借入金						
事業収益								
その他								

事業名	事業費内訳	1か年度目 (実施)	2か年度目 (実施)	3か年度目 (実施)	4か年度目	5か年度目	合計	
くろみ邑美 園児童部棟 改築事業	計画の実施期間に おける事業費合計		5,400	162,610			168,010	
	財源構成	社会福祉充実 残額		5,400	59,712			65,112
		補助金			102,898			102,898
		借入金						
		事業収益						
		その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目 (実施)	2か年度目 (実施)	3か年度目 (実施)	4か年度目	5か年度目	合計
くるみ邑美 園設備整備 事業	計画の実施期間に おける事業費合計	1,620		2,592	4,170		8,382
	社会福祉充実 残額	1,620		2,592	4,170		8,382
	補助金						
	借入金						
	事業収益						
	その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目 (実施)	2か年度目 (実施)	3か年度目 (実施)	4か年度目	5か年度目	合計
くるみ邑美 園修繕事業	計画の実施期間に おける事業費合計		3,140	500	2,500		6,140
	社会福祉充実 残額		3,140	500	2,500		6,140
	補助金						
	借入金						
	事業収益						
	その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目 (実施)	…	…	…	9か年度目	合計
くるみ邑美 園改築事業	計画の実施期間に おける事業費合計					766,514	766,514
	社会福祉充実 残額					301,258	301,258
	補助金					285,900	285,900
	借入金						
	事業収益						
	その他					179,356	179,356

※179,356千円を「その他」欄に計上している理由について

現在の建物は、平成30年度に邑南町から当法人へ譲り受けた。しかし、建物が老朽化しているため9か年目に改築を計画する。その際、自己資金で建替えることになるが、現在までの積立額とこれからの積立金を考慮すると自己資金が確保できることが想定される。また、その時の社会情勢についても現時点では把握できないことから充実残額ではなく、借入金または自己資金での調達を計画しているため「その他」欄に計上している。

事業名	事業費内訳	1か年度目 (実施)	…	…	…	6か年度目	合計
グループ ホーム 建設事業	計画の実施期間に おける事業費合計					62,400	62,400
	財源 構成	社会福祉充実 残額				62,400	62,400
		補助金					
		借入金					
		事業収益					
その他							

事業名	事業費内訳	1か年度目 (実施)	2か年度目 (実施)	3か年度目 (実施)	4か年度目	5か年度目	合計	
借地購入 事業	計画の実施期間に おける事業費合計		3,628				3,628	
	財源 構成	社会福祉充実 残額		3,628				3,628
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
その他								

事業名	事業費内訳	1か年度目 (実施)	2か年度目 (実施)	3か年度目 (実施)	4か年度目	5か年度目	合計	
くるみ邑美 園児童部棟 設備整備 事業	計画の実施期間に おける事業費合計				2,500		2,500	
	財源 構成	社会福祉充実 残額				2,500		2,500
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
その他								

※本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	職員処遇改善事業	
主な対象者	法人全職員	
想定される対象者数	153名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成29年8月1日～令和8年3月31日	
事業内容	当法人の職員の給与・賃金単価・夜勤手当の改正、手当の増設。 資質向上を図るため研修費を助成する。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	給与のベースアップ、賃金単価の改正、夜勤手当のアップ、 年度末手当支給の実施、研修費の助成
	2か年度目	給与のベースアップ、賃金単価の改正、年度末手当支給の実施、 研修費の助成
	3か年度目	給与のベースアップ、賃金単価の改正、年度末手当支給の実施、 研修費の助成
	4か年度目	給与のベースアップ、賃金単価の改正、年度末手当支給の実施、 研修費の助成
	5か年度目	給与のベースアップ、賃金単価の改正、年度末手当支給の実施、 研修費の助成
	6か年度目	給与のベースアップ、賃金単価の改正、年度末手当支給の実施、 研修費の助成
	7か年度目	給与のベースアップ、賃金単価の改正、年度末手当支給の実施、 研修費の助成
	8か年度目	給与のベースアップ、賃金単価の改正、年度末手当支給の実施、 研修費の助成
	9か年度目	給与のベースアップ、賃金単価の改正、年度末手当支給の実施、 研修費の助成
事業費積算 (概算)	<p>職員給与のベースアップ 月額給与 1,000円×77名×8か月=616,000円 賞与 1,000円×77名×4.45か月=342,650円 月額給与 1,000円×80名×8か年=7,680,000円 賞与 1,000円×80名×4.45か月×8か年 =2,848,000円</p> <p>※職員給与のベースアップについて、平成29年作成時の計画において、社会福祉充実を達成することを計画した。その結果、月額給与が千円以上アップし、その傾向が未だ続いている。平成30年度に給料表を抜本的に改正したが、この改正は当初計画時の職員給与のベースアップを引き継いだものである。このことから、給料表が改正されていても当初計画どおりの職員処遇改善のための事業が継続していると考えられ、3か年度目以降についても「職員給与のベースアップ」を前提として、社会福祉充実残額が事業費に充てられていると整理することができる。</p> <p>賃金単価の改正 臨時職員 280円×28名×164日=1,285,760円 夜勤支援員 1,000円×472回=472,000円 職業指導員 30円×10H×164日=49,200円 ヘルパー 30円×261H×8か月=62,640円 臨時職員 280円×30名×8か年(240日/年)=16,128,000円 夜勤支援員 1,000円×1,050回/年×8か年=8,400,000円 職業指導員 30円×10H×8か年(240日/年)=576,000円 ヘルパー 30円×261H/月×8か年=751,680円</p>	

	夜勤手当のアップ（一回一律 4,000 円） 改正前支給額との差額 2,218,664 円	
	一時金の支給	
	・ 1 か年目	$30,000 \text{ 円} \times 98 \text{ 名} = 2,940,000 \text{ 円}$ $30,000 \text{ 円} \times 80\% \times 4 \text{ 名} = 96,000 \text{ 円}$ $30,000 \text{ 円} \times 60\% \times 4 \text{ 名} = 72,000 \text{ 円}$ $10,000 \text{ 円} \times 36 \text{ 名} = 360,000 \text{ 円}$ 他 50,000 円（7 名） 計 3,518,000 円
	・ 2 か年目	$30,000 \text{ 円} \times 107 \text{ 名} = 3,210,000 \text{ 円}$ $30,000 \text{ 円} \times 80\% \times 2 \text{ 名} = 48,000 \text{ 円}$ $10,000 \text{ 円} \times 36 \text{ 名} = 360,000 \text{ 円}$ 他 114,000 円（10 名） 計 3,732,000 円
	・ 3 か年目以降	$40,000 \text{ 円} \times 110 \text{ 名} \times 7 \text{ か年} = 30,800,000 \text{ 円}$ $30,000 \text{ 円} \times 40 \text{ 名} \times 7 \text{ か年} = 8,400,000 \text{ 円}$ $30,000 \text{ 円} \times 4 \text{ 名} \times 45\% \times 7 \text{ か年} = 378,000 \text{ 円}$ 計 39,578,000 円
	研修費用	
	・ 役員	
	1 か年目	345,800 円
	2 か年目	342,600 円
		$25,300 \text{ 円} \times 15 \text{ 名} \times 7 \text{ か年} = 2,656,500 \text{ 円}$
	・ 職員	
	1 か年目	1,229,000 円
	2 か年目	$2,600 \text{ 円} \times 66 \text{ 名} = 171,600 \text{ 円}$
		$17,000 \text{ 円} \times 46 \text{ 名} = 782,000 \text{ 円}$
	3 か年目以降	$2,600 \times 50 \text{ 名} \times 7 \text{ か年} = 910,000 \text{ 円}$
		$17,000 \text{ 円} \times 62 \text{ 名} \times 7 \text{ か年} = 7,378,000 \text{ 円}$
		※概算のため、若干の端数あり
	合計	102,070 千円（うち社会福祉充実残額充当額 102,070 千円）
地域協議会等の意見と その反映状況		

事業名	くるみ邑美園児童部棟改築事業（施設整備助成事業）	
主な対象者	くるみ邑美園児童部利用者（定員 10 名）	
想定される対象者数	入所児童 8 名、短期入所 2 名、職員 9 名	
事業の実施地域	邑南町（現有敷地内）	
事業の実施時期	平成 30 年 4 月 1 日～令和 2 年 2 月 25 日	
事業内容	<p>障害児入所施設の改築工事。</p> <p>生活スペースを個室とし、家庭に近い生活環境を確保する。また、併設型の短期入所を整備し、家庭からの自立支援や緊急時の受入れ等、様々なニーズに対応する建物に改築。</p> <p>福祉型障害児入所施設：定員 8 名 短期入所：定員 2 名 合計定員 10 名</p>	
事業の実施スケジュール	1 か年度目	
	2 か年度目	児童部棟改築設計
	3 か年度目	児童部棟改築工事
	4 か年度目	
	5 か年度目	
事業費積算 （概算）	<p>本体工事 136,212,032 円（建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事）</p> <p>共通費 15,777,102 円（共通仮設費、現場管理費、一般管理費）</p> <p>備品他 5,310,000 円（自己資金）</p> <p>外構工事 3,110,866 円（一部自己資金）</p> <p>設計・監理費 7,600,000 円（自己資金）</p> <p>（設計費 5,400,000 円 監理費 2,200,000 円）</p> <p>（自己資金 65,112,000 円 補助金 102,898,000 円）</p>	
	合計	168,010 千円（うち社会福祉充実残額充当額 65,112 千円）
地域協議会等の意見と その反映状況		

事業名	くるみ邑美園設備整備事業	
主な対象者	くるみ邑美園利用者	
想定される対象者数	73名	
事業の実施地域	邑南町地内	
事業の実施時期	平成29年8月1日～令和3年3月31日	
事業内容	調理用の厨房オープン・業務用布団乾燥機、マイクロバス車庫整備を実施する。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	厨房オープン整備
	2か年度目	
	3か年度目	マイクロバス車庫整備
	4か年度目	布団乾燥機整備
	5か年度目	
事業費積算 (概算)	厨房オープン更新	1,620,000円
	業務用布団乾燥機	4,170,000円
	マイクロバス車庫	2,592,000円
	合計	8,382千円(うち社会福祉充実残額充当額8,382千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

事業名	くるみ邑美園修繕事業	
主な対象者	くるみ邑美園利用者	
想定される対象者数	73名	
事業の実施地域	邑南町地内	
事業の実施時期	平成30年4月1日～令和3年3月31日	
事業内容	施設内壁、廊下、クロス貼替等補修を実施する。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	やよい棟・あすなろ棟 内装修理 食堂 内装修理、クロス貼替
	3か年度目	ひまわり棟内装修理、クロス貼替
	4か年度目	やよい棟・あすなろ棟・千鳥棟内装修理、クロス貼替
	5か年度目	
	6か年度目	
	7か年度目	
	8か年度目	
事業費積算 (概算)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食堂内装修理、クロス貼替 1,590,000円 ・ やよい棟・あすなろ棟・ひまわり棟・千鳥棟内装修理、クロス張替 4,550,000円 	
	合計	6,140千円（うち社会福祉充実残額充当額 6,140千円）
地域協議会等の意見と その反映状況		

事業名	くるみ邑美園改築事業（施設整備助成事業）	
主な対象者	くるみ邑美園利用者（定員 73 名）	
想定される対象者数	入所者 60 名、通所者 10 名（日中活動 70 名）、職員 71 名	
事業の実施地域	邑南町	
事業の実施時期	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日	
事業内容	<p>障害者支援施設の改築工事。</p> <p>建替えにおいては個室化を図る等、安全で安心な生活環境が確保されるよう改築する。</p>	
事業の実施スケジュール	1 か年度目	
	2 か年度目	
	3 か年度目	
	…	
	9 か年度目	くるみ邑美園改築工事
事業費積算 (概算)	<p>建設主体工事 358,468,000 円、電気設備工事 67,000,000 円</p> <p>機械設備工事 89,000,000 円、仮設建物 7,000,000 円、解体工事 20,000,000 円</p> <p>共通費 96,000,000 円（共通仮設費、現場管理費、一般管理費）</p> <p>本体工事費 637,468,000 円（自己資金 351,568,000 円 補助金 285,900,000 円）</p> <p>設計管理費 36,000,000 円（自己資金）</p> <p>備品他 30,000,000 円（自己資金）</p> <p>外構工事 63,046,000 円（自己資金）</p> <p>※自己資金財源構成 社会福祉充実残額 301,258,000 円 その他 179,356,000 円</p>	
	合計	766,514 千円（うち社会福祉充実残額充当額 301,258 千円）
地域協議会等の意見と その反映状況		

※179,356 千円を「その他」欄に計上している理由について

現在の建物は、平成 30 年度に邑南町から当法人へ譲り受けた。しかし、建物が老朽化しているため 9 か年目に改築を計画する。その際、自己資金で建替えることになるが、現在までの積立額とこれからの積立金を考慮すると自己資金が確保できることが想定される。また、その時の社会情勢についても現時点では把握できないことから充実残額ではなく、借入金または自己資金での調達を計画しているため「その他」欄に計上している。

事業名	グループホーム建設事業	
主な対象者	障がい者	
想定される対象者数	入居者 7 名	
事業の実施地域	邑南町	
事業の実施時期	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日	
事業内容	借家の老朽化に伴い、最新基準を満たした設備のグループホームを建設する。 事業概要 木造平屋建てグループホーム 定員 7 名	
事業の実施スケジュール	1 か年度目	
	2 か年度目	
	3 か年度目	
	...	
	6 か年度目	グループホーム建設
事業費積算 (概算)	建築主体工事	31,000,000 円
	電気設備工事	7,000,000 円
	機械設備工事	10,000,000 円
	共通費	9,000,000 円 (共通仮設費、現場管理費、一般管理費)
	備品購入費	3,000,000 円
	設計監理費	2,400,000 円
	合計	62,400 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 62,400 千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

事業名	借地の購入	
主な対象者	グループホーム利用者	
想定される対象者数	グループホーム利用者 9 名	
事業の実施地域	邑南町地内	
事業の実施時期	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日	
事業内容	法人所有グループホーム 2 件にかかる借地の購入 (660 坪、353 坪)	
事業の実施スケジュール	1 か年度目	
	2 か年度目	青雲荘、春風荘の借地購入
	3 か年度目	
	4 か年度目	
	5 か年度目	
事業費積算 (概算)	借地 2 件の購入 青雲荘借地 660 m ² 2,255,000 円 春風荘借地 402 m ² 1,373,000 円	
	合計	3,628 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 3,628 千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

事業名	くるみ邑美園児童部棟設備整備事業	
主な対象者	くるみ邑美園児童部利用者（定員 10 名）	
想定される対象者数	入所児童 8 名、短期入所 2 名、職員 9 名	
事業の実施地域	邑南町	
事業の実施時期	令和 2 年 8 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日	
事業内容	廊下と脱衣室にエアコンを設置していないため、生活環境改善のためにエアコン設備を整備する。	
事業の実施スケジュール	1 か年度目	
	2 か年度目	
	3 か年度目	
	4 か年度目	エアコン設備整備
	5 か年度目	
事業費積算 (概算)	エアコン設備（廊下・脱衣室）整備 2,500,000 円	
	合計	2,500 千円（うち社会福祉充実残額充当額 2,500 千円）
地域協議会等の意見と その反映状況		

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

平成30年4月1日付けで邑南町より当法人へ「くるみ邑美園」「くるみ邑美園児童部」の建物を譲り受けた。

また、築25年であるが建物の腐食や地盤の歪みにより老朽化が激しく、旧基準による建物のため定員を減らして対応しているが、利用者が未だに不自由な生活を送っている。建て替えにおいては個室化を図る等、安全で安心な生活環境となるよう改善したい。しかしながら、建物の劣化や耐用年数、補助金等考慮し令和7年度の事業とせざるを得ないため、計画については9か年での実施とさせていただきたい。

くるみ邑美園改築事業について、179,356千円を「その他」欄に計上している理由については、平成30年度に当法人へ譲り受けた建物は、老朽化しているため9か年目に改築を計画する。その際、自己資金で建替えることになるが、現在までの積立額とこれからの積立金を考慮すると自己資金が確保できることが想定される。また、その時の社会情勢についても現時点では把握できないことから充実残額ではなく、借入金または自己資金での調達を計画しているため「その他」欄に計上している。

その他、将来にわたり職員の資質向上を図るためにも、処遇改善事業を継続して行いたい。